

## 短期研修報告書

記入 | 2023年 12月

所属&学年 | 経済学部 4年生

留学先大学 (国名)	香港中文大学
短期研修のプログラム名	CUHK International Summer School
留学した期間	8/6-26

### 1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

中国語に興味があったため、海外留学室から申し込みました。  
申し込みはまずネットで基本情報、語学レベル等を記入したのち、香港中文大学から入学許可が降りて、お金を支払うという流れでした。その後、香港での留学には学生ビザが必要であるため、書類を香港に送り、香港で学生ビザを発行してもらいました。ビザの発行には1ヶ月程度かかるため、お早めに申し込むことをお勧めします。  
中国語は大学で2年間勉強した程度だったので、事前に検定などを用いて勉強してから渡航しました。

### 2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

授業は基本的には9:30-12:00, 14:00-16:30の二部構成でした。午前中は主に文法を午後からはスピーキングをというシラバスでしたが、あまり大きな違いはなく、どちらの授業も、教科書に沿って例文を読んだり、先生からの質問に答えたり、ペアワークをしたりという感じで進んで行きました。毎授業予習、小テスト、課題が課されるため、結構大変でした。最後には期末テストのようなものがあり、成績がつきます。クラスメート皆合格していたので、出席して、課題を出していれば、心配なくて大丈夫だと思います。授業が終わって寮に帰って友達とテスト勉強や課題をして寝るといった感じで過ごしていました。テスト、課題はオンライン上で課されるため、パソコンもしくはタブレットは必要だと思います。  
最初の申し込みの時点でクラス分けテストが課されるのですが、授業が始まってからもクラスは変わります。1クラス15人ぐらいでbeginner lower, beginner upper, Intermediate, advancedの4つのレベルに分かれていました。一番下のクラスは本当に基礎クラスで、漢字のかき方から始まるため、大学一年生でもしたから二つ目のクラスを取ることをお勧めします。大学で1年半ぐらい学んでいれば上から2つ目のクラスでも十分ついていけると思います。私は上から2つ目のクラスでした。1番上のクラスはかなり難しそうだったので挑戦したい人にお勧めかなと思います。基本的に授業は中国語と英語で進んで行きますが、周りには日本人が多いため、お互いに助け合いながら授業を受けられるため、そんなに心配する必要はないと思います。  
留学に来ている人は大半が日本人です。私の時も8割が日本人で後の2割がアメリカ人、イギリス人、ロシア人、ドイツ人、等といった感じでした。先生は午前中と午後で2人の先生が担当してくださいました。授業では、人数が少ないこともあり毎授業で必ず3回は指される感じだったので、発音や文の構成などきちんと一人一人指導してくださいました。また毎回小テストが課され、予習復習をしっかりするため、非常に実力がついたなと感じます。クラスメートも毎日一緒に過ごすため、非常に仲良くなりやすく、一緒に学食に行ったり、土日は街に遊びに行ったり、和気藹々とした雰囲気でした。名古屋大学からは一人だったのですが、他の

大学（京都、東京外語大学、南山、阪大、上智）といった大学のこと友達になれるのが非常に魅力的かなと思います。

大学は香港の中心地から電車で 20 分くらいのところでした。隣の駅には大きなショッピングモールがあります。香港のご飯は非常に美味しく、日本食（コンビニ、スーパー、レストラン、お菓子）も多いため、食には困らないと思います。香港の水、ご飯があわずにお腹を下してしまっている子もあまりいませんでした。

### 3. 生活（住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど）

大学の寮に滞在していました。2 人部屋で私はアメリカ人の学生と相部屋でした。事前に知り合いがいれば、相部屋を希望することもできます。

ランドリーは寮の中にあり、洗濯・乾燥合わせて 300 円くらいでした。

シャワー、トイレは共同で、部屋の外にあります。綺麗さはまあまあぐらいです。

キッチンも共同のものが階ごとにあります。ウォーターサーバーもあるので、毎朝水を汲んで授業に持って行っていました。

食事は基本的には外食になるので、朝ごはんは大学内のスーパーで買った軽食、昼食は学食、夕食は自炊、もしくは街で食べていました。大学の中にスーパーがあるので果物やパンなどはそこで買ってました。円安の影響もあり、学食も日本のものに比べると少し高く 1 食 700 - 1000 円ほどでした。香港の物価は日本よりも高かったと思います。レストランで夕飯を食べると拉麺でも 1500 円くらいで、平均して 2000 円くらいでした。

香港では基本的に『八達通(Octopus)』という交通系 IC カードが必須です。駅や空港で変えます。私は事前にネットで予約して空港で受け取り、それを使ってバスに乗って、大学に向かいました。大学の学食の買い物、コンビニ、街中のレストラン、地下鉄、バス、全てこれがあれば大丈夫です。その代わり現時点ではチャージが現金のみであるため、結構現金を持っていったほうがいいかなと思います。もちろん街中の買い物ではクレジットカードは使えます。ネットは wife が大学構内や寮では使えますが、街中で遊ぶ場合もあるので、e-sim や sim カードを事前に準備しておくのがいいと思います。

持参してよかったもの、持ってくればよかったものは

- ・ビーチサンダル（シャワーを浴びる際）
- ・洗濯ネット、洗濯洗剤、柔軟剤
- ・大きめの袋（洗濯物を入れる）
- ・レトルトのお米（向こうで調達しようとする結構高かったです）
- ・延長コード（ベットとコンセントが離れているためあったら便利かと思います）
- ・変換プラグ（香港は bf タイプ）
- ・パソコン
- ・薬（私が滞在した時はコロナ？が教室で蔓延して私もコロナのような症状で 2 日間くらい熱が出ていました、そのため、解熱剤、風邪薬、痛み止めのような常備薬は普段使っているものをしっかり持ってくるのを勧めます）
- ・羽織れるもの（基本的に室内は冷房がガンガンのため寒いので、寮の中もベッドの位置によっては非常に寒いので、あったら安心です）
- ・折り畳み傘（香港の夏は基本的に毎日 3 時間くらい雨が降っていました）

大学から地下鉄で一駅のところ、IKEA や大きなショッピングモールがあるため、基本的に必要なものはそこで揃うので、あまり心配しなくても大丈夫だと思います。

#### 4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

パスポートは基本的には身につけていましたが、寮はオートロックで、各部屋にも鍵がついているため、そこまで貴重品に対するリスクはなかったと思います。ただ無くしてしまった場合は自己責任になるため、しっかりと貴重品は携帯することをお勧めします。

香港の治安はとても良く、夜でもそんなに怖くありませんでしたが、大学の駅から寮までが遠く、大学のバスに乗らないといけず、終バスが 23 時ごろだったので、それまでには大学に帰ってこないといけないという感じでした。

#### 5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

本プログラムはしっかりと課題や小テストが課されるため、中国の力を短期間で伸ばしたいという方には非常におすすめのプログラムだと思います。また、香港中文大学は香港の都市部にも近いので、授業後や土日に観光もできます。そのため、勉強だけではなく、香港の街や文化に触れたいと考えている学生にも良いのではないかなと思います。香港までは飛行機で 4 時間で、地下鉄も便利なので、初めて外国に行く学生も安心していけるとと思います。街中では標準語ではなく広東語が使われている場合が多く、数字の呼び方等違い、最初は戸惑いましたが、基本的には標準語が通じ、英語も少しは通じるので、なんとかかなるかなと思います。

3 週間、中国語だけを学ぶとなると不安を感じる学生さんも多いかなと思いますが、私自身本当にこの 3 週間で一気に聞き取れ、喋れるようになったなと感じます。やはり日本の大学の授業ではなんとなく意味がわかってしまうという点で発音が適当になってしまったり、リスニングの勉強をほとんどしてなかったりといった問題があるかと思います。授業は基本的には中国語で行われるため、よく使われる単語や教科書の単語を地道に覚えて、発していく中で少しずつ、中国語に親しみを感じるようになりました。もし中国語にもう少し触れてみたいという学生さんがいたらぜひ参加されることをお勧めします。

#### 6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	7万円	航空運賃6万 ビザ1万
海外旅行保険	1万5千円	東京海上日動
授業料(教材費含)	1500円	授業料免除、教科書代
滞在費(寮費など)	15万円	
食費	3万円	
交通費	5000円	
その他(小遣い、通信費など)	5万円	テーマパーク代、お土産代、観光
計	22万円	

自由記述欄 \* 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



おすすめの飲茶のお店



学食のご飯



寮の部屋